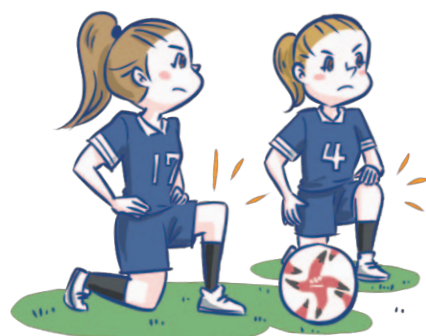


**q.2** オリンピックのテーマは多様性や調和でした。その一方で、開会前も開会中も人種や性別などの色々な人権に関する問題が起こってニュース等で取り上げられました。皆さんが印象に残った出来事がありますか？



**三島さん**

女子サッカーの選手が人種差別について考えるきっかけとして、キックオフの前に片膝をつくポーズをとったことが印象的でした。以前は、片膝をつくポーズのことは知らなかったのですが、今回のオリンピックでのそのポーズに「人種差別に抗議をする」という意味を持つと学びました。このように、世界中の人々が注目する舞台上でメッセージを発信することは大切だと思いました。

**杉本さん**

東京オリンピックはLGBTQ※の選手参加数が過去最多になったと聞きました。自分自身、性的マイノリティの人が身近におり、講義でもジェンダーに関する勉強をしていたので、このニュースは印象的でした。

日本はこの分野に関してまだまだ世界に後れを取っているとはいえ、この東京オリンピックを機に性的マイノリティに対する関心が高まれば良いなと思いました。

※LGBTQ…L=レズビアン(女性同性愛者)・G=ゲイ(男性同性愛者)・B=バイセクシャル(両性愛者)・T=トランスジェンダー(生まれた時に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人)・Q=クイア(その他の性的マイノリティのことを総称する言葉)またはクエスチョニング(自分の性的指向や性自認が決まっていない人、決めていない人)の頭文字としてだけではなく、SOGI(Sexual Orientation・Gender Identity/性的指向と性自認)におけるマイノリティ(少数者)の総称として用いられています。

**鈴木さん**

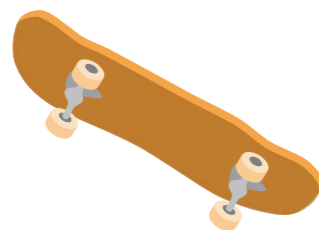
私が印象に残っているのは、サッカーの試合での片膝をつく行為です。私は最初あのポーズが何を表現しているのか分からなかったのですが、試合内でそのような表現をすることによって「私のような何も知らない人にも思いを伝えることができるんだな」と感じ、強く印象に残っています。

**佐伯さん**

大会関係者による差別的言動が明るみに出たことが印象に残っています。多様性に対して意識の低い人も関わっていると知り、このテーマの説得力が失われていくように感じました。ユニフォーム変更などの意味ある出来事もあっただけに、関係者内でテーマが十分に理解の上共有されていなかったことは残念に思います。

**坂本さん**

スケートボードの競技ではミスをした選手に対して、国にかかわらずその挑戦を称えて担ぎ上げたりハグをしたりしている姿が見られました。競技という場面においてはライバルの関係であっても、お互いを尊重し合っ心から競技を楽しんでいるという様子が伝わり、勝ち負けだけでなくチームを超えた調和が感じられて印象的でした。



**q.3** オリンピックに続いて開催されたパラリンピックで印象に残っている競技はありますか？

**三島さん**

車いすテニスです。金メダルを獲得された国枝慎吾さんの圧巻の強さは同じ日本人として誇らしいものでした。この大会で初めて車いすテニスを見たのですが、広いコートを手回して動き回る姿はとてまかつこよくて見入ってしまいました。これをきっかけに、これからもパラリンピックの競技の試合に注目していきたいです。



**私を感じたこと、考えたこと。**



今回お話を聞きした、**関西大学の5名の学生のみなさん**

- 社会学部 3回生 **三島 彩香さん**
- 文学部 2回生 **佐伯実果子さん**
- 文学部 2回生 **坂本怜衣羅さん**
- 文学部 2回生 **杉本 拓実さん**
- 社会学部 2回生 **鈴木 優花さん**

今年の夏、オリンピック・パラリンピックが日本で開催され、開催前も開催期間中も様々な話題がニュースなどで報道されました。コロナ禍に開催され、また、多様性や調和がテーマとして取り上げられた大会において、どのようなことを感じたのか、関西大学の学生のみなさんにお伺いしました。

**q.1**

**コロナ禍に開催されたオリンピック・パラリンピックでしたが、みなさんは選手の活躍を見てどんなことを感じましたか？**

**三島さん**

オリンピック・パラリンピック開催前はコロナ禍という状況もあり、日本でオリンピック・パラリンピックが行われることに不安な気持ちがありました。しかし、オリンピック・パラリンピックが開催されると選手の活躍に勇気づけられ、結果的にオリンピック・パラリンピックが開催されて良かったと感じました。また、コロナが流行して以降、暗いニュースが多かった中でオリンピック・パラリンピックでの日本人選手のメダルラッシュのニュースに明るい気持ちになれました。

**佐伯さん**

選手のみなさんが1年間の延期期間を乗り越えてきたこと、厳しい状況の中モチベーションを保ち続けていたことは本当にすごいと感じました。技術面だけでなく、精神面でも卓越した人たちが結果を残すのだなとしみじみ思いました。

**坂本さん**

例年とは異なる環境での開催だったにもかかわらず、それぞれの選手がベストを尽くせるように準備を行ってきたということが、画面を通して感じられました。競技場に観客がいないというのは少しさみしい部分もありましたが、選手のパフォーマンスに何度も感動し、楽しむことができました。

**杉本さん**

今回のオリンピック・パラリンピック開催に関して、かねてから様々な議論や批判があったかと思えます。しかし、新型コロナウイルスの感染予防対策について選手の理解と協力があつたからこそ大会は大きな問題なく終了することができたのだと思います。私もこのことに恥じることはないよう、新型コロナウイルス対策を心がけようと思いました。また、大会の結果に関しても日本の選手は数多くの金メダルを獲得したと聞き、感動しました。

**鈴木さん**

最初は人ごとのように感じていた両大会ですが、いざ開催されると開会式から視聴していませんが、各国の選手たちの笑顔や頑張る姿を見ているその瞬間は「大会が開催されてよかった」と心から感じました。

